

# 宮坂建設150人 神社内を清掃

帯広市の宮坂建設工業



木の枝などを拾う社員たち

(西4南8、宮坂寺文社長)の社員らが13日午前9時から、帯廣神社(大野清徳宮司)と十勝護国神社(同)で清掃活動を行った。

同社の地域社会貢献事業の一環。同社と平田建設(山田誠社長)、寿エンジニア(小林俊昭社長)のグループ3社で、1995年から毎年行っている。

12回目となった今回は約150人が参加。ビニール袋を手に、両神社敷地内に落ちている木の枝や落ち葉、境内に残ったどんと焼きの灰などを2時間かけて回収した。同社業務部の河原勝男部長は「作業するのになんか良い気分、能率も上がった。心地よい汗をかいた」と話していた。清掃後は帯廣神社で1年間の作業の安全を祈願した。

(北雅貴)